

目黒本町五丁目新設公園（仮称） 第一回検討会

令和7年5月24日(土)

目黒本町五丁目新設公園（仮称）第一回検討会

本日のスケジュール

1. 開会の挨拶
2. 事業概要及び現況、
整備イメージの説明(20分)
3. 意見交換(50分)
4. 閉会の挨拶
5. アンケート

検討会資料 目次

1.事業の目的	-----	P. 3
2.事業スケジュール	-----	P. 4
3.公園計画までの経緯	-----	P. 5
4.計画地の概要	-----	P. 6
5.周辺地域の概況	-----	P. 9
6.整備方針・イメージ	-----	P. 23
7.意見交換	-----	P. 34
8.次回検討会について	-----	P. 35

1.事業の目的

課題

- ・木造住宅が密集している
- ・一時的に避難できる場の整備が必要
- ・まちなかのみどりが少ない
- ・いきものが生息できる場所が少ない
- ・日常的に遊べる公園が不足



- ①防災性の向上
- ②景観や生物多様性の向上
- ③生活環境の向上

2.事業スケジュール

第1回検討会 5月24日(土)



- ・整備に至る経緯や計画地の概要などの説明
- ・整備方針などについて意見交換

アンケート調査 6月中旬予定



- ・第1回検討会のニュースレターと共にアンケートを配布し、整備に関する要望などを調査

第2回検討会 7月下旬予定



- ・アンケート結果のご紹介
- ・具体的な導入施設について意見交換

第3回検討会 9月上旬予定



- ・第1回・第2回検討会をふまえたプランとイメージ図の提示
- ・プランについて意見交換

設計作業



- ・検討会の結果に基づき、設計内容を取りまとめる

令和8年度

整備工事
開園予定

3.公園計画までの経緯

昭和61年～

老朽建築物等が密集し、公園などの公共施設が不足している地区として「木造住宅密集地域整備事業」を開始



延焼防止や避難のため、公園などの必要性が高まる



令和5年1月

土地所有者の希望により「区に土地を寄付したい」との申し出あり



令和6年3月

今回計画地の土地を公園用地として受領

4. 計画地の概要

計画地の位置

住所：目黒本町五丁目21-14

面積：244.35m²



※現在はまだ家が建っている状態
(令和7年度中解体予定)

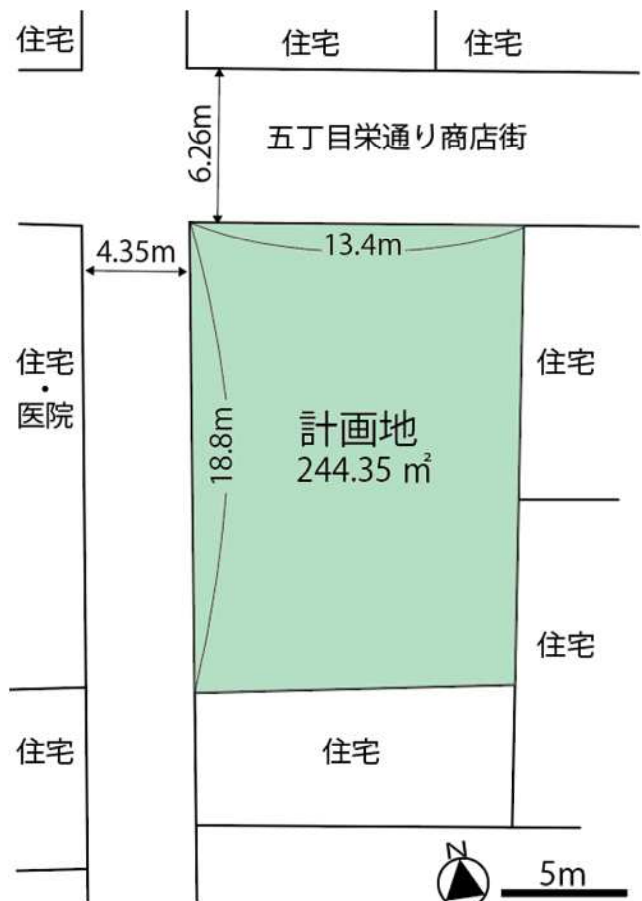


6

4. 計画地の概要

計画地の現況

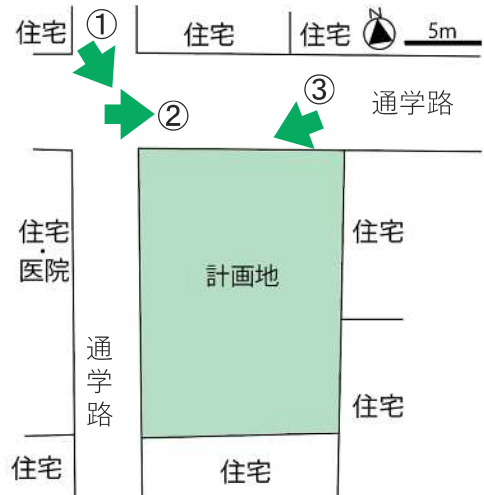
- ・ 五丁目栄通り商店街に面する角地
- ・ 周囲を住宅に囲まれている
- ・ 避難所・公共施設までの距離
向原小学校…約400m
向原住区センター…約250m
- ・ 現時点ではまだ建物がある



7



敷地角に面して通学路標識、電柱、ミラー、消火器がある。
隣地の建物が近接している。
西側道路は幅員4.3mで、通学路になっており、掲示板、
通学路標識、ゴミ集積所、街灯がある。



北側道路は路測帯を含めて幅員は
6.2m以上である。



北側道路も通学路である。商店街の街灯がある。
西側道路街灯とはデザインが異なる。

5. 周辺地域の概況①

計画地・公園整備に関する上位関連計画

■ 目黒区都市計画マスタープラン

・・・将来都市像やまちづくりの方針を示す

- ・ 防災性を備えた良好な住環境整備
- ・ 地震や火災に強い環境整備
- ・ 公園や緑地等の維持・確保・リノベーション

■ 目黒区基本計画

・・・将来像実現のための中長期的な目標・施策を示す

- ・ 公園等機能の拡充 (ユニバーサルデザイン、グリーンインフラ)
- ・ 公園の維持管理 (安全性・快適な利用)、みどりの保全・創出
- ・ 木造住宅密集地域の整備

■ 目黒区みどりの基本計画

・・・みどりの保全・創出に関する目標・方針を示す

- ・ みどりの創出を重視するエリアに該当
- ・ 特色ある公園づくり、いきものの生息環境づくり、在来種による緑化を行う

■ 目黒区景観計画

・・・良好なまちなみ景観形成のための方針・施策を示す

- ・ 地域の個性を活かした演出、特徴を活かした街並み

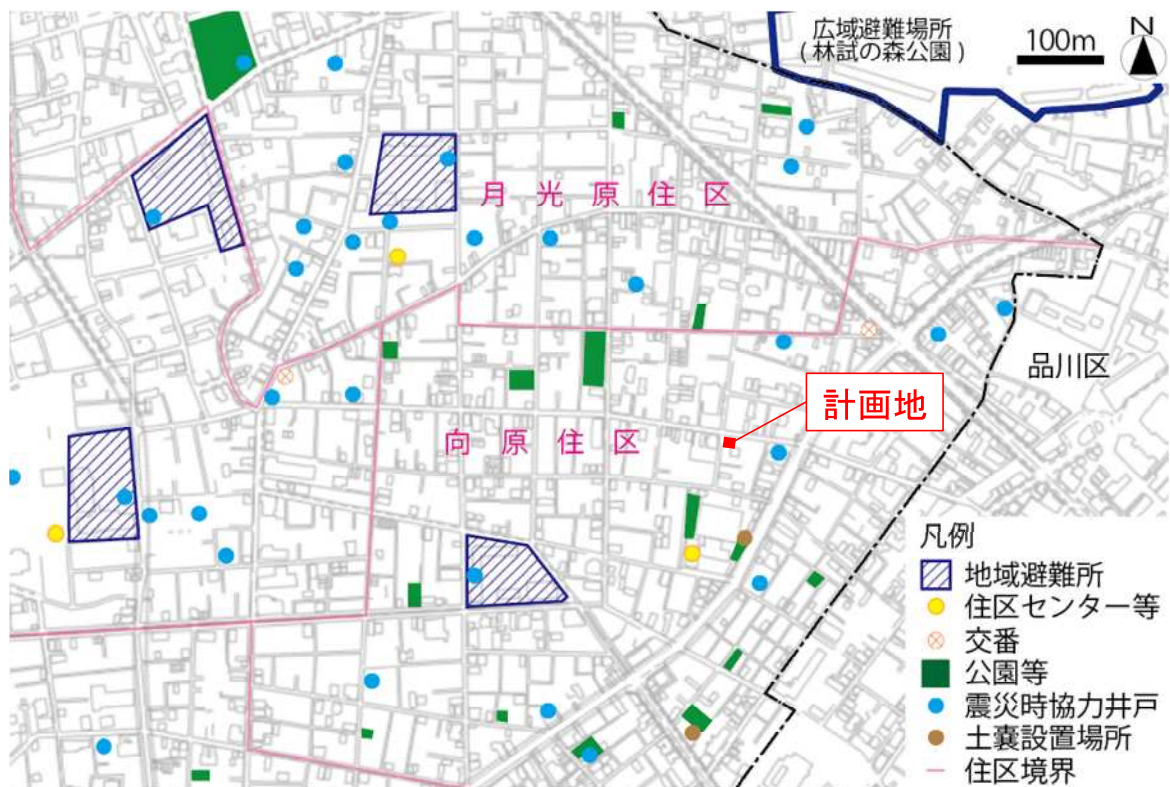
■ 東京都防災都市づくり推進計画

・・・震災に強い都市実現を目指した方針・施策を示す

- ・ 不燃化推進や避難場所の確保など防災性の向上

5. 周辺地域の概況②

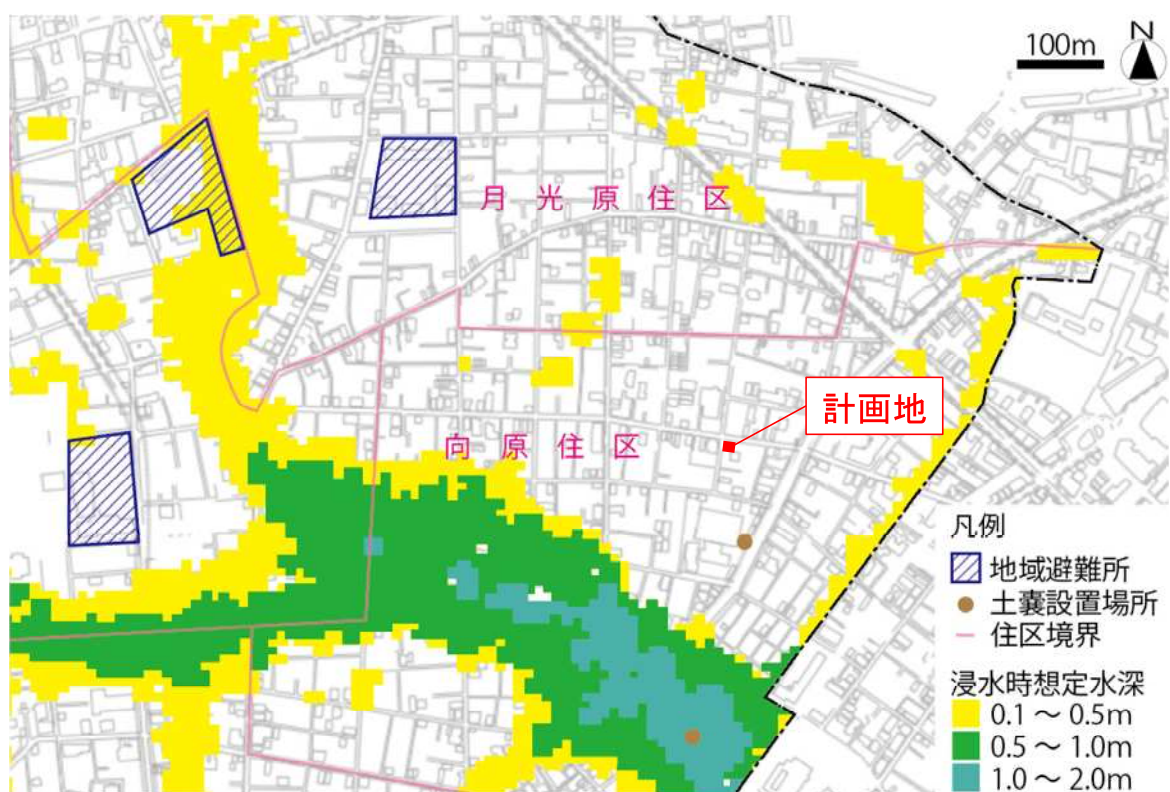
計画地の防災マップ(地震)



10

5. 周辺地域の概況②

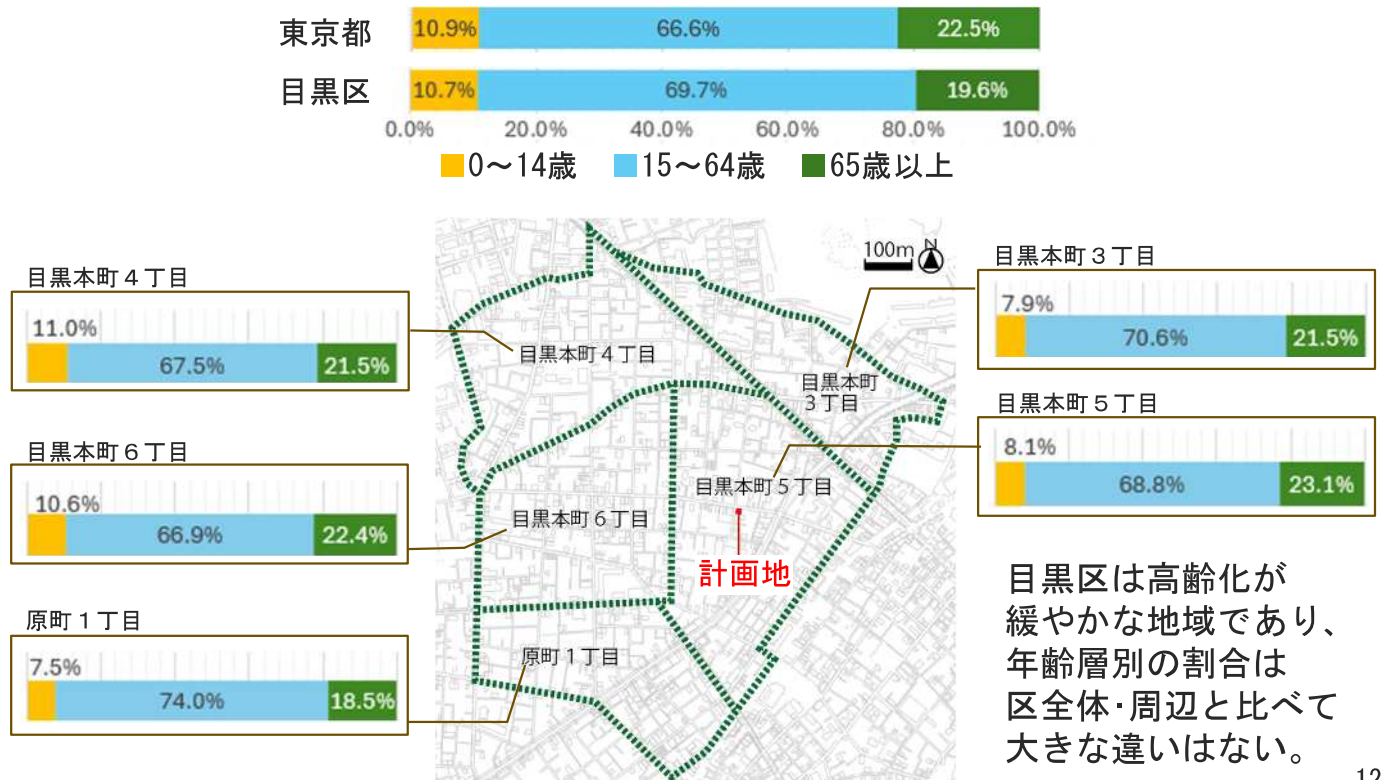
計画地の防災マップ(水害)



11

5. 周辺地域の概況③

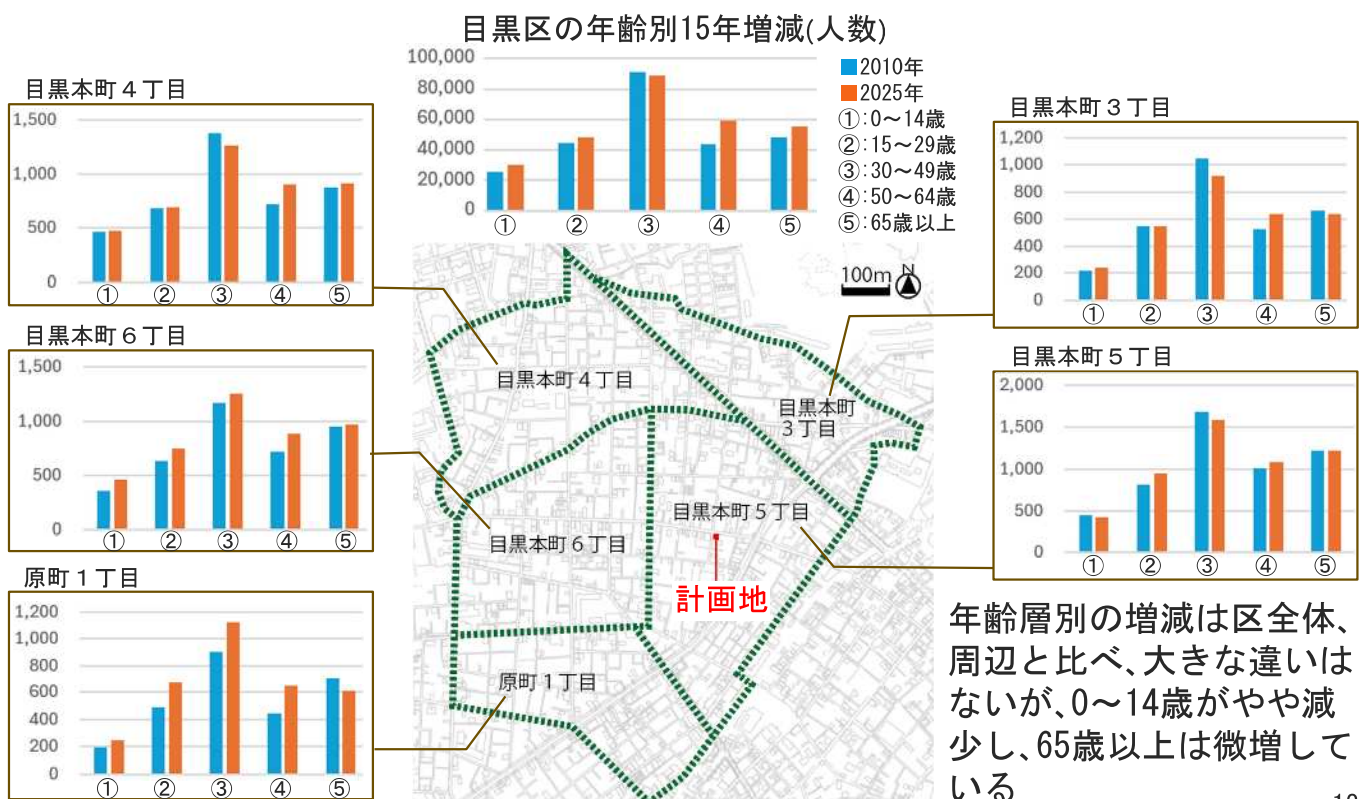
計画地エリアの年齢層別人口割合



12

5. 周辺地域の概況③

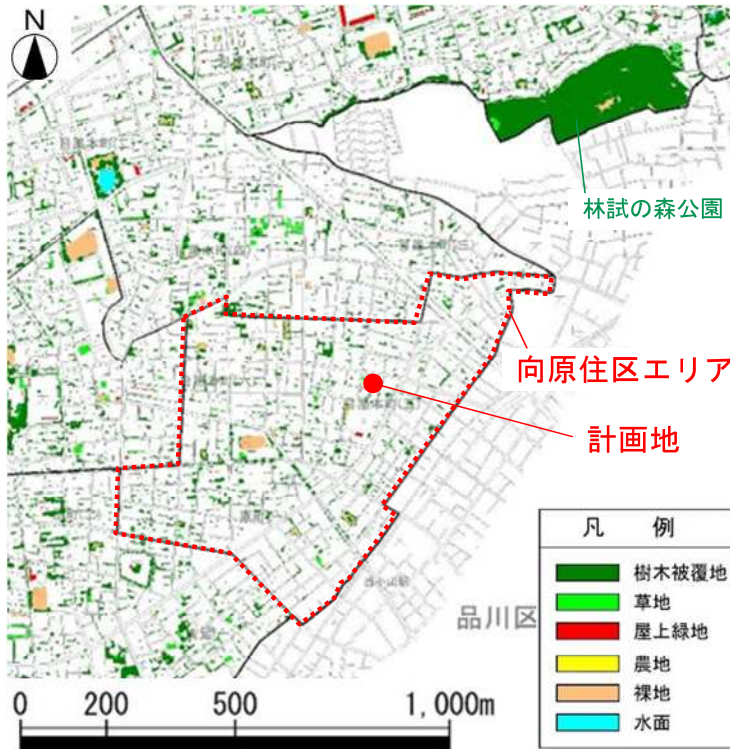
計画地エリアの人口増減



13

5. 周辺地域の概況④

計画地エリアのみどりの状況



	緑被率※
目黒区全体	17.0%
目黒本町五丁目	5.7%
目黒本町三丁目	5.3%
目黒本町四丁目	9.2%
目黒本町六丁目	7.7%
原町一丁目	6.3%
計画目標	20.0%

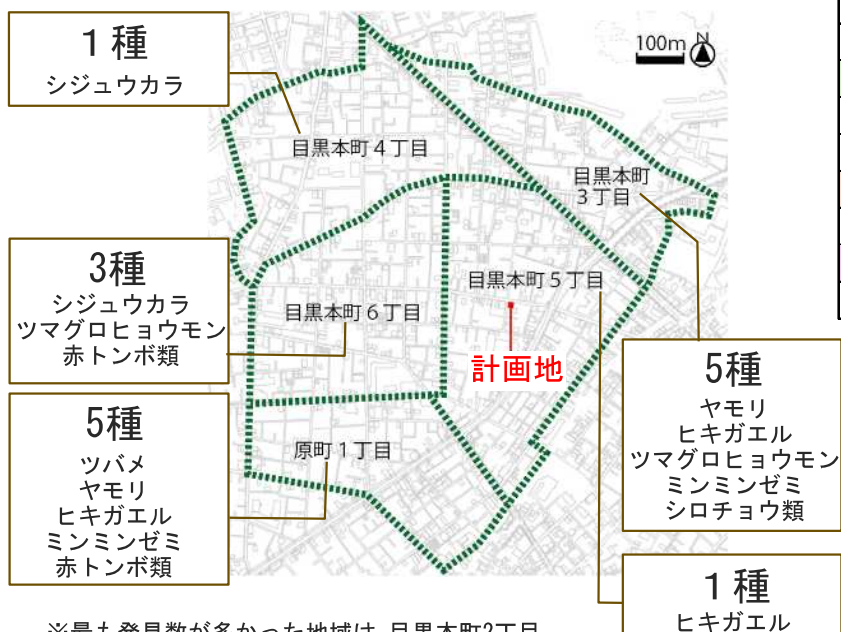
- 目黒区の緑被率は23区内で16位
- 区内緑被率下位3位はすべて向原住区エリアに属する
 - 下位1位 目黒本町三丁目
 - 2位 目黒本町五丁目
 - 3位 原町一丁目

14

5. 周辺地域の概況④

計画地エリアのいきものの生息状況

※指標種18種のうちその地域で確認された生物種数



※最も発見数が多かった地域は、目黒本町2丁目、碑文谷2丁目、4丁目で、11種類が発見された

■指標種18種

希少種：絶滅のおそれのある野生生物
ヤマガラ、モズ、カワセミ、ヒキガエル、アオダイショウ、ヤモリ、ヒグラシ
象徴種：区民投票により選ばれた身近な生物
シジュウカラ、コゲラ、ツバメ、赤とんぼ類、ミンミンゼミ、オンパッタ、シロチョウ類
アンブレラ種：捕食者
オオタカ、ツミ
中枢種：他の種の個体数や分布に影響を与える
ツマグロヒョウモン、ナガサキアゲハ

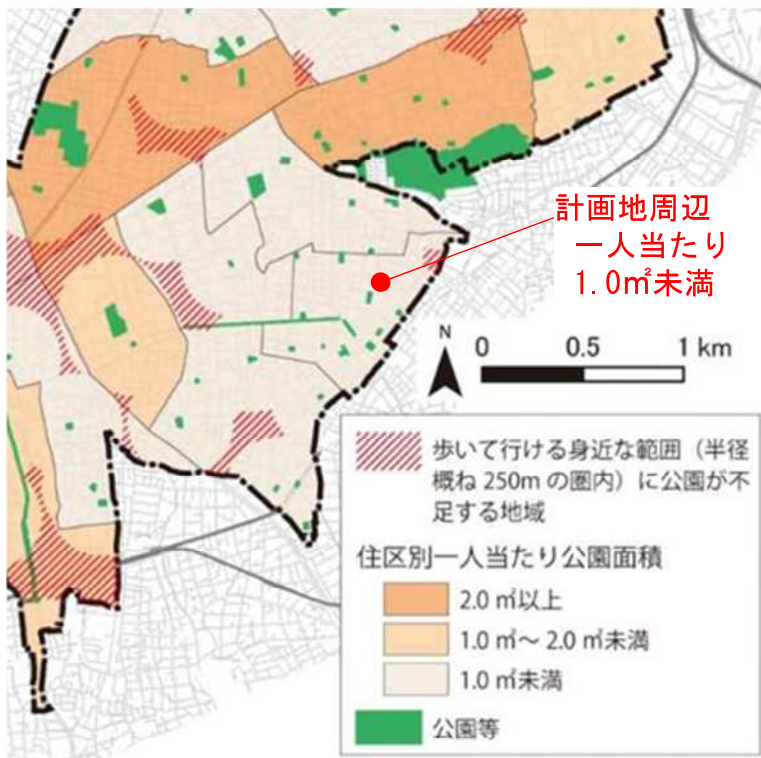


- 発見された生物種数は1種類のみ
- ただし、あくまで指標種のみを対象とした調査

15

5. 周辺地域の概況⑤

計画地エリアの公園



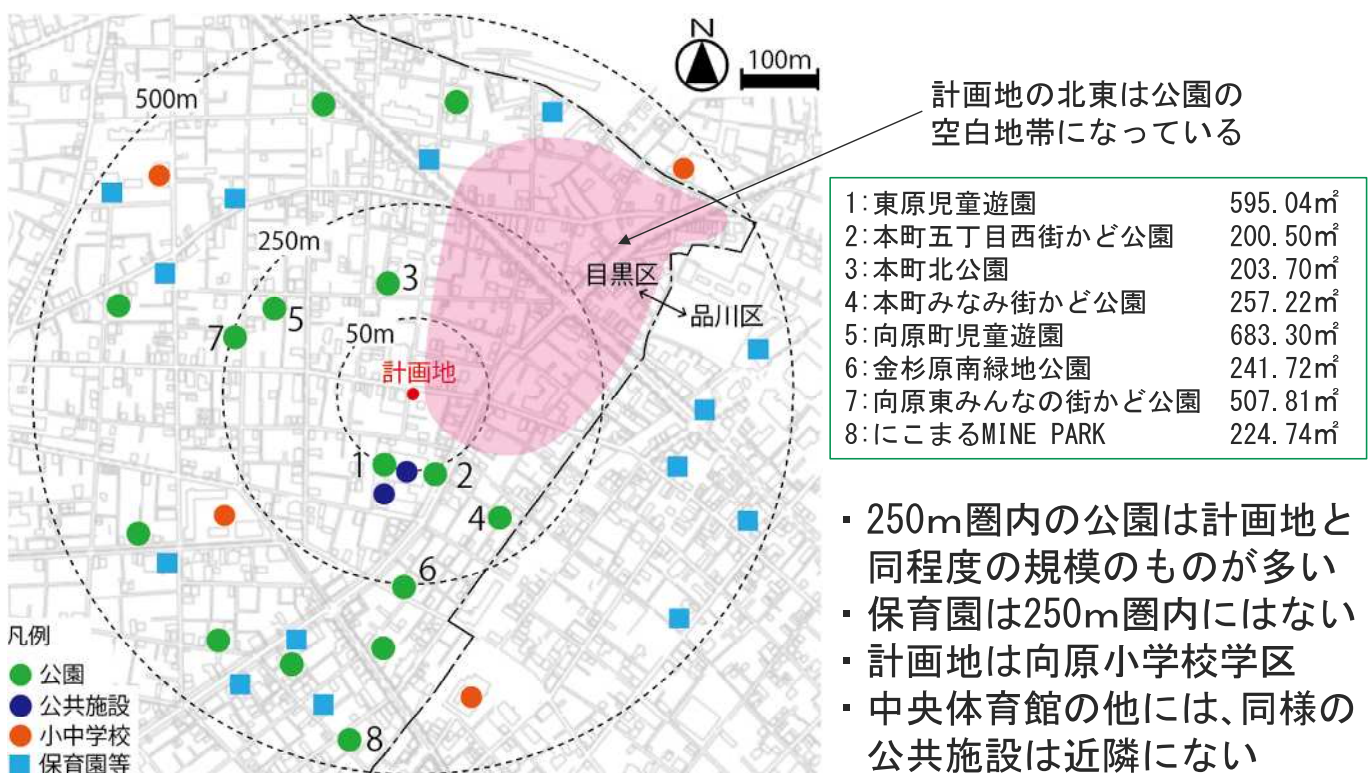
	一人あたり公園面積
目黒区全体	1.75m ² /人
目黒本町五丁目	0.17m ² /人
目黒本町三丁目	0.22m ² /人
目黒本町四丁目	0.08m ² /人
目黒本町六丁目	0.43m ² /人
原町一丁目	0.78m ² /人
計画目標	2.00m ² /人

- 目黒区の一人当たり公園面積は23区内で21位
- 公園が少ないため、火災時の防災(不燃)に資するオープンスペースが少ない

16

5. 周辺地域の概況⑤

計画地エリアの公園と学校・保育施設・公共施設



- 250m圏内の公園は計画地と同程度の規模のものが多い
- 保育園は250m圏内にはない
- 計画地は向原小学校学区
- 中央体育館の他には、同様の公共施設は近隣にない

17

5. 周辺地域の概況⑤

1: 東原児童遊園 (595.04㎡・計画地から100m)



防火水槽45㎡、複合遊具、幼児用遊具、砂場、スツール、トイレ

2: 本町五丁目西街かど公園 (200.50㎡・計画地から115m)



土のう保管箱、花壇

18

5. 周辺地域の概況⑤

3: 本町北公園 (203.70㎡・計画地から145m)



防災倉庫、防火水槽40㎡、幼児用遊具、スツール

4: 本町みなみ街かど公園 (257.22㎡・計画地から195m)



防災倉庫、防火水槽40㎡、ベンチ、シンボルツリー(ヒメリンゴ)、民間シェアサイクル

19

5. 周辺地域の概況⑤

5: 向原町児童遊園 (683.30㎡・計画地から215m)



防災倉庫、防火水槽105㎡、複合遊具、幼児用遊具、砂場、トイレ

6: 金杉原南緑地公園 (241.72㎡・計画地から260m)



防災倉庫、防火水槽40㎡、ベンチ、藤棚、トイレ、階段

20

5. 周辺地域の概況⑤

7: 向原東みんなの街かど公園 (507.81㎡・計画地から250m)



鉄棒、幼児用遊具、健康遊具、パーゴラ、ベンチ、芝生広場

8: にこまるMINE PARK (224.69㎡・計画地から460m)



※設備は東京電力のもの
防災倉庫、人工芝広場

21

5. 周辺地域の概況

地域の特徴・課題

周辺公園

- ・公園が少ないエリア
- ・小規模の公園が多い
- ・防災設備がある

みどりと景観

- ・緑被率が低いエリア
- ・住宅密集地域
- ・地域の特色を活かす
- ・生物多様性に配慮

上位計画

- ・防災性を備える
- ・地震や火災に強い環境整備
- ・公園・緑地等の整備
- ・みどりの保全・創出
- ・公園機能の拡充
- ・安全で快適な公園
- ・生物の生息に配慮

人口

- ・0～14歳が少ない
- ・高齢化が緩やか

防災

- ・木造住宅密集地域
- ・避難できるオープンスペースが少ない
- ・水害の危険性は低い

6. 整備方針・イメージ

整備の全体方針（案）

防災性の向上

安全で快適な公園利用

緑化と生物多様性の向上

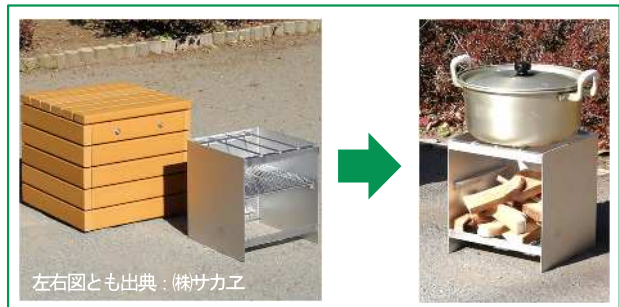
個性のある愛される公園

6.整備方針・イメージ

整備方針1 防災性の向上



一時避難場所になるスペースの確保



左右図とも出典：(株)サカエ

防災関連施設の導入



延焼防止効果のある植栽



防災意識を高める工夫

24

6.整備方針・イメージ

整備方針2 安全で快適な公園利用



左図出典：(株)風韻セコロ / 右図出典：(株)サンポール

安全への配慮



傾斜路の勾配
→ 原則5%以下

車いす利用者などへの配慮



左図出典：(株)中村製作所 / 右図出典：(株)コトブキ

バリアフリーやユニバーサルデザイン

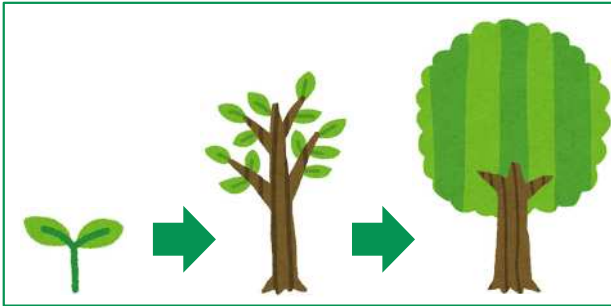


憩いの場となる施設

25

6.整備方針・イメージ

整備方針3 緑化と生物多様性の向上



みどりの創出(緑化基準確保)



彩りや四季を感じる植栽



癒しや遊び・学びになるみどり

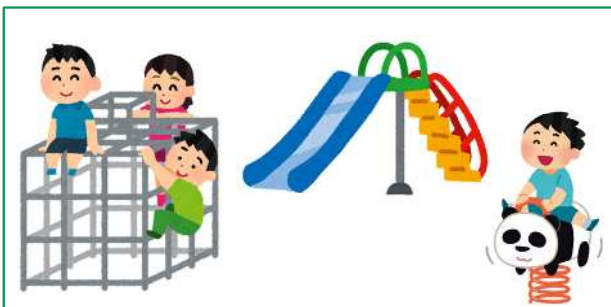


いきものが生息できる環境

26

6.整備方針・イメージ

整備方針4 個性のある愛される公園



子どもの利用



左右図とも出典：(株)コトブキ

大人の利用



右図出典：「ランドスケープデザイン第144号」マルモ出版

人と人がつながる公園



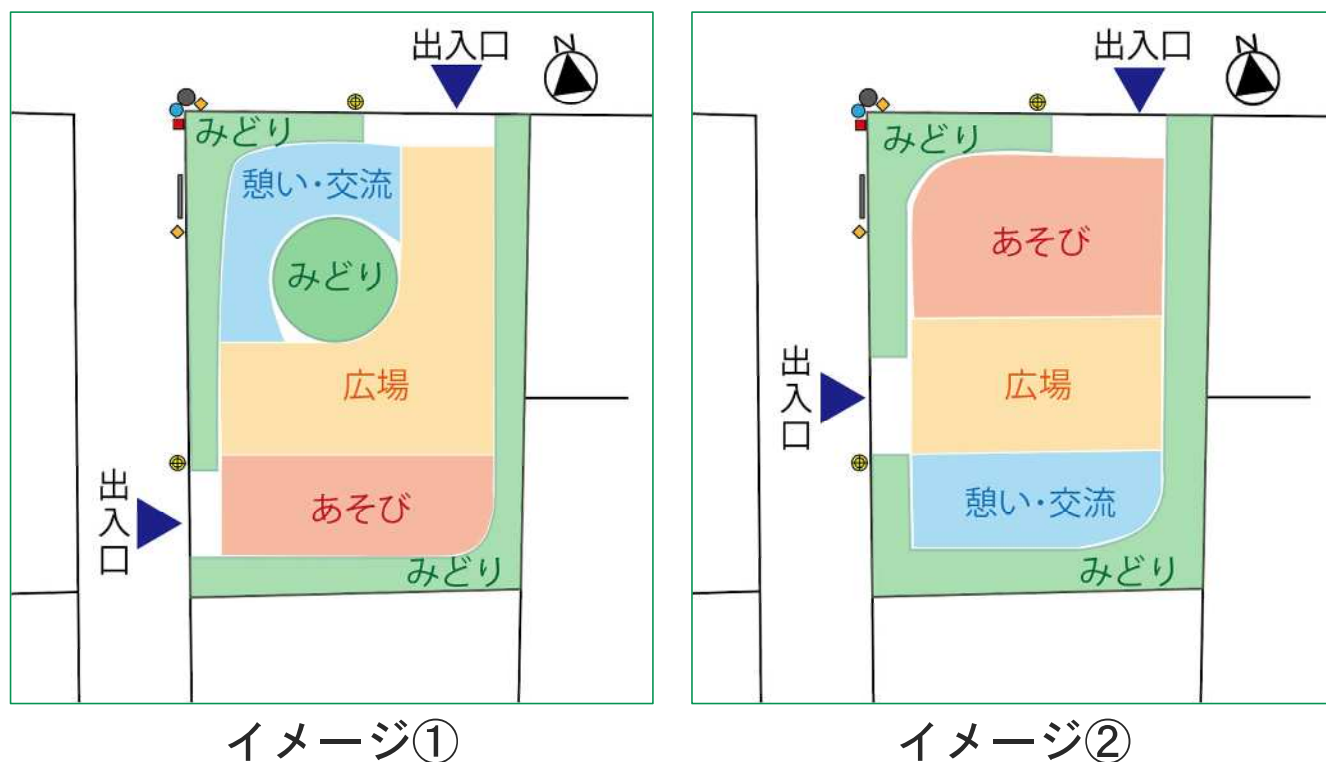
公園を印象付ける施設

27

[illegible]

6.整備方針・イメージ

ゾーニングイメージ図 (参考)



6.整備方針・イメージ

似たような事例のイメージ写真①

桜橋南東児童遊園

場所：東京都中央区新富

敷地：90.67㎡

施設：幼児用遊具

ベンチ

プランター

シンボルツリー

(イロハモミジ)



「明るく開かれた憩いの広場」
をコンセプトにした公園。
見通しが良く安全で、四季も感じ
られる、サラリーマンや住民がく
つろげる街角の空間。

30

6.整備方針・イメージ

似たような事例のイメージ写真②

城山・サクラ・コモン公園

場所：栃木県小山市城山町

敷地：約485㎡

砂場

幼児用遊具

サクラ形スツール

ベンチ

市原産サクラ

(オモイガワザクラ)



市原産の木を植樹したほか、
サクラや市のゆるキャラを
デザインに取り入れた、市
民が親しみやすい公園。



31

6.整備方針・イメージ

似たような事例のイメージ写真③

東尾久三丁目児童遊園

場所：東京都荒川区東尾久

敷地：約247㎡

幼児用遊具

健康遊具

パーゴラ

ベンチ、スツール



32

質疑応答

ここまでのご説明について質問等ございましたら
挙手をお願いいたします。

整備内容に関するご意見やご要望は
この後の意見交換でもお伺いさせていただきます。

33

7.意見交換

①グループに分かれて意見交換（40分）

1. どのような公園にしたいか
 2. どんな施設を整備してほしいか、
 3. 整備イメージなどについてどう思ったか
- ・・・などを話し合います。

②グループで話し合った内容を発表（10分）

自分のグループでどのような意見があったかを互いに発表し、他のグループの意見を聞いてみます。

34

8.次回検討会について

第2回検討会開催 (7月下旬予定)

本日の検討会結果及び、アンケートの結果をふまえた整備計画について意見交換する予定としております。

ニュースレター発行（6月中旬予定）

本日の検討会についてまとめたニュースレターを発行します。ニュースレターにて、アンケート調査を実施いたしますのでぜひご回答いただければと思います。

35

総 括

お問合せ先

目黒区役所 都市整備部 みどり土木政策課 施設整備係
担当：柿崎、伊藤

電 話：03-5722-9753

F A X：03-3792-2112

メー ル：midoridoboku07@city.meguro.tokyo.jp